

令和 元 年度 福岡市立 [早良中] 学校 学校評価実施状況(公表用)

めざす学校像・子ども像・教員像		課題	今後の改善方策
○生徒一人ひとりを大事にし、心を育む学校 ○安心・安全で保護者、地域から信頼される学校 ○基本的な生活習慣を身につけ、自ら学ぶ意欲と志をもつ生徒 ○志を持ち進路実現に向け、粘り強く挑戦する生徒 ○自他を尊重し、思いやりと感謝の心にあふれた生徒 ○生徒のことを一番に考え、生徒を大事にする教員 ○お互いに育て合い、育ち合う雰囲気をもつ教員		学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・「学び合い」学習を取り入れた授業改善とICT機器の活用。 ・基礎基本の定着を図り、学習意欲を高めるための学習コンクールの実施 ・家庭学習の定着を図るための「自学ノート」の充実
		生徒指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止や不登校生徒減少のための月1回のアンケートの実施。 ・校内支援会議の充実。 ・組織的な対応の充実。
		心の教育	<ul style="list-style-type: none"> ・特別の教科「道徳」の推進。 ・「さわらタイム」(「GWT」と「SST」)の実施。 ・自他を大切にすると人権教育の充実。
重点目標	指標(取組指標・成果指標)	達成状況についての説明	
学力向上に向け自ら学ぶ意欲をもつ生徒の育成を図る	自学ノートを活用した家庭学習の定着(提出率90%以上)を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・「自学ノート」の提出率は、1年生90%、2年生97%、3年生78%であった。 ・全職員、授業公開を行い、職員がお互いに研修を行い、授業に生かすことができた。 ・学習コンクールを学期に1回実施することができた、1年生の合格率(70点以上)は75%、2年生の合格率は72%であった。 ・授業評価に関しては、点数が良くなった(70.1%)という項目以外は肯定的な評価が80%以上であった。 	
	「学び合い」を取り入れた授業を行い、自ら学ぶ生徒の育成を図る。		
	学習コンクールを年間3回行い、基礎学力の定着を図るとともに自ら学ぶ生徒の育成を図る。		
	生徒による授業評価を行い、肯定的な評価が80%以上になるようにする。		
基本的な生活習慣を定着させ、いじめや不登校を生まない生徒指導の充実を図る	「あいさつ、掃除、時間厳守」を徹底させ、生徒アンケートで肯定的回答が80%以上になるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の意欲的に掃除(77.8%)、時間を守る(78.8%)以外は、「あいさつ、掃除、時間厳守」の肯定的回答が80%以上であった。 ・いじめゼロアンケートを月に1回実施することができた。 ・各学年、分析を行い学年、学級、個人の課題解決に生かすことができた。 ・SSWに入っただき、週1回の生徒指導委員会を開催し、状況の確認を行い個々の生徒に応じた支援を検討し取組むことができた。 	
	いじめの防止・早期発見のために、いじめゼロアンケートを月に1回実施する。		
	Q-Uテストを実施し、結果の分析を行い、課題解決に向けての取り組み。		
	週1回の生徒指導委員会で、いじめや不登校について状況の確認を行い、改善に向けての協議を行う。		
心の教育と集団づくりの充実を図る	集団づくりのために、グループワークトレーニングを計画的に実施する。(月1回)	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回のグループワークトレーニングを実施することができた。 ・生徒アンケートの自分に「良いところがある」「自分は役に立っている」という項目は前年度と変わらなかった。 ・校内支援委員会については、定期的に行うことはできなかったが、必要に応じて開催することはできた。 ・生徒アンケートの「夢や目標がある」「人の良いところと言える」「優しい言葉かけ」の項目では肯定的な回答が80%を超えていた。 	
	生徒アンケートで、自尊感情や自己有用感の項目の肯定的回答をする生徒が前年度を上回る。		
	校内支援委員会を定期的に開催し、支援を必要とする生徒の実態把握と支援についての協議を行う。		
	自他を尊重し、あきらめずに自己実現をめざす生徒の育成を図る。		
学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)			
<ul style="list-style-type: none"> ・立志式での決意の言葉がとてもしっかりしていた。よかったと思う。 ・英語チャレンジテストの結果を分析しより一層目標に届くよう工夫をしてほしい。 ・『学び合い』学習で一定の成果があることはわかった。勉強がわかると胸を張って言える生徒を今後も育ててほしい。 ・スマホ依存等学校だけで解決しがたい課題がある。保護者の意識を高めていくよう啓発活動を検討してほしい。 			